

令和 2 年度
一宮市の予算
主な事業

20





01	臨	市制施行100周年	総合政策部 100周年記念事業推進室
02	臨	中核市移行	総合政策部 中核市移行推進課
03	拡	避難所に電気とWi-Fi環境	総合政策部 危機管理課
04	臨	5Gの利活用	総務部 情報推進課
05	新	AIなどの活用	総務部・財務部 情報推進課・市民税課
06	拡	3歳児視力検査の充実	市民健康部 健康づくり課
07	拡	コグニバイクで認知症予防	福祉部 高年福祉課
08	拡	放課後児童クラブ整備	こども部 子育て支援課
09	拡	保育室エアコン整備	こども部 保育課
10	拡	スタートアップ支援	経済部 商工観光課

11	臨	ツインアーチ138展望室に木のぬくもりを	まちづくり部 公園緑地課
12	新	まちなかを元気に	まちづくり部・建設部 都市計画課・道路課
13	新	電柱のない快適で安心なまちへ	建設部 道路課
14	臨	ビッグデータで交通安全対策	建設部 維持課
15	新	自転車レーンで安全確保	建設部 維持課
16	臨	洪水ハザードマップ作成	建設部 治水課
17	拡	プログラミング学習（Pepperを全小中学校へ）	教育文化部 学校教育課
18	新	アプリで通報Net119	消防本部 通信指令課
19	新	地域医療連携ネットワークの導入	市民病院 地域医療連携室
20	拡	大地震から水を守る	上下水道部 上水道整備課

新：新たに取り組む事業

臨：臨時的な事業

拡：制度・内容を拡充する事業

臨 市制施行100周年記念事業

担当課 総合政策部100周年記念事業推進室
0586-85-7433

令和2年度
事業費 1,711万円

市制施行100周年を迎えるにあたり、次の100年に向けて市民もまちも、100周年のメインテーマである「健康・元気」であり続けられることを目指し、市及び市内の関係団体による官民連携を目的とした『いちのみや市100周年実行委員会』において、令和2年度は主に100周年を市内外にPRする事業を行うとともに、令和3年度に実施する事業を検討する。また、市内関係団体の実施するPR事業に対して助成を行い、全市的な機運の醸成を図る。

イベント参加やSNS等を通じ100周年を認知した人1人あたり		17	円
主な経費	実行委員会負担金	14,104	千円
	関係団体助成金	3,000	千円
主な財源	シンポジウム助成金	3,000	千円
	一般財源	14,104	千円

－ 2021年の市制施行100周年を市内外にPRします －

・ 市内外へのPR事業の実施



シンポジウムの実施



ポスターやパンフレット
記念グッズの制作



オリジナルフレーム切手の制作
など…



市内の各イベントでのPR



市制施行100周年に向けた

- ・ 機運の醸成
- ・ 注目度アップ



2021年度（令和3年度）
市制施行100周年記念事業の実施

- ・ 交流人口及び関係人口の拡大
- ・ 市の魅力度及びブランド力の向上

臨 中核市移行推進事業

担当課 総合政策部中核市移行推進課
0586-85-7003

令和2年度 事業費 1億8,965万円

令和3年4月1日の中核市移行に向けて、中核市指定に必要となる県知事の同意及び総務大臣への指定申出に関する事務を行うとともに、移行によって県から移譲される事務を円滑に引継ぐため、関係機関との協議・調整を行う。また、中核市移行への理解を深めるための市民向けPR活動を積極的に展開しつつ、与えられる事務権限を活用した「一宮ならではの」中核市誕生を目指す。

人口1人あたり		492 円
主な経費	保健所の設置準備	21,180 千円
	高度救助隊の編成	52,041 千円
	大気測定局の整備	76,644 千円
主な財源	国補助金	16,018 千円
	市債	16,700 千円
	一般財源	155,323 千円

－ 安心して住みやすいまち「中核市一宮」の誕生を目指します －

■ 保健所の設置準備



現在の愛知県一宮保健所を借用して、市保健所を整備し、新たな地域保健対策の拠点とすることで、市民の健康と安全を守るサービスの充実を目指す。

- 保健所業務に必要な検査機器・医薬材料等の購入
- 施設看板等の修繕

■ 高度救助隊の編成

大規模災害に備え、高度な救助用資機材を装備し、救助のための専門的な知識・技術を有する隊員から成る高度救助隊を編成し、市の救助体制の充実強化を図る。

- 画像探索機・地中音響探知機など、高度救助隊に必要な資機材、救助資機材搬送車の購入



■ 大気測定局の整備

大気の汚染の状況を常時監視するため、必要な施設や測定機を整え、汚染状況の迅速な把握と対応を図る。

- 自動車排出ガス測定局の新設工事
- 大気中の二酸化窒素や微小粒子状物質等の濃度を測定する機器の購入



拡 災害備蓄物資充実事業

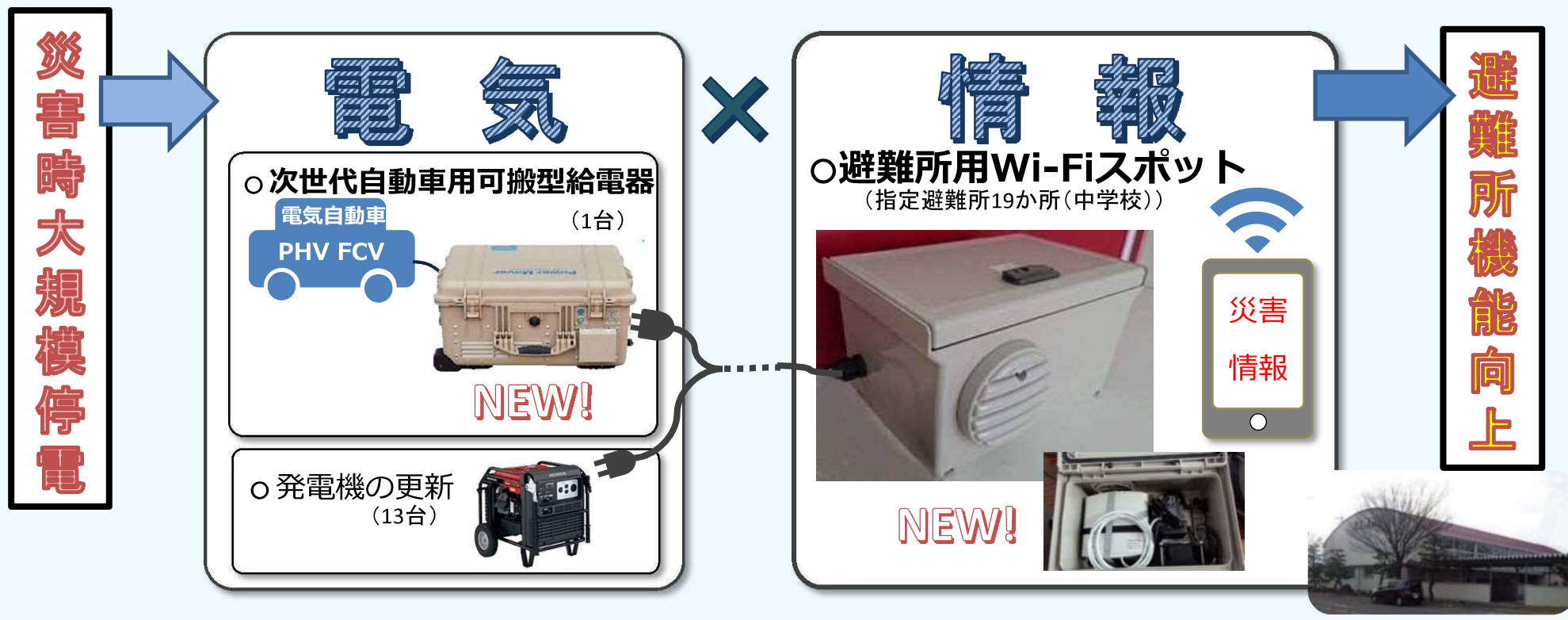
担当課 総合政策部危機管理課
0586-28-8959

令和2年度
事業費 2,351万円

令和2年度に新たに避難所資機材として、避難所用Wi-Fiスポットを整備する（初年度は指定避難所（中学校）19か所）ほか、電気自動車などから電源を取るための可搬型給電器、医療救護所用の簡易ベッドを購入する。

南海トラフ地震想定避難者1人あたり		279	円
主な経費	避難所資機材購入費	10,855	千円
	消耗品費	6,297	千円
主な財源	県補助金	3,549	千円
	その他補助金	216	千円
		一般財源	19,735 千円

－ 災害時の停電に備え、電気とWi-Fi環境を整備します －



臨 5G利活用実証事業

担当課 総務部情報推進課
0586-28-8670

令和2年度
事業費

1,241万円

5G（第5世代移動通信システム）は、超高速大容量、超低遅延、多数同時接続といった特徴を持つ次世代の移動通信システムである。この地域の5Gの早期普及と安全・安心分野を主眼とした社会実装を目指し、地域課題の解決に資する5G利活用モデルについて、官民協働の実証実験を行う。

火災件数と救急搬送件数の合計件数 1 件あたり

714 円

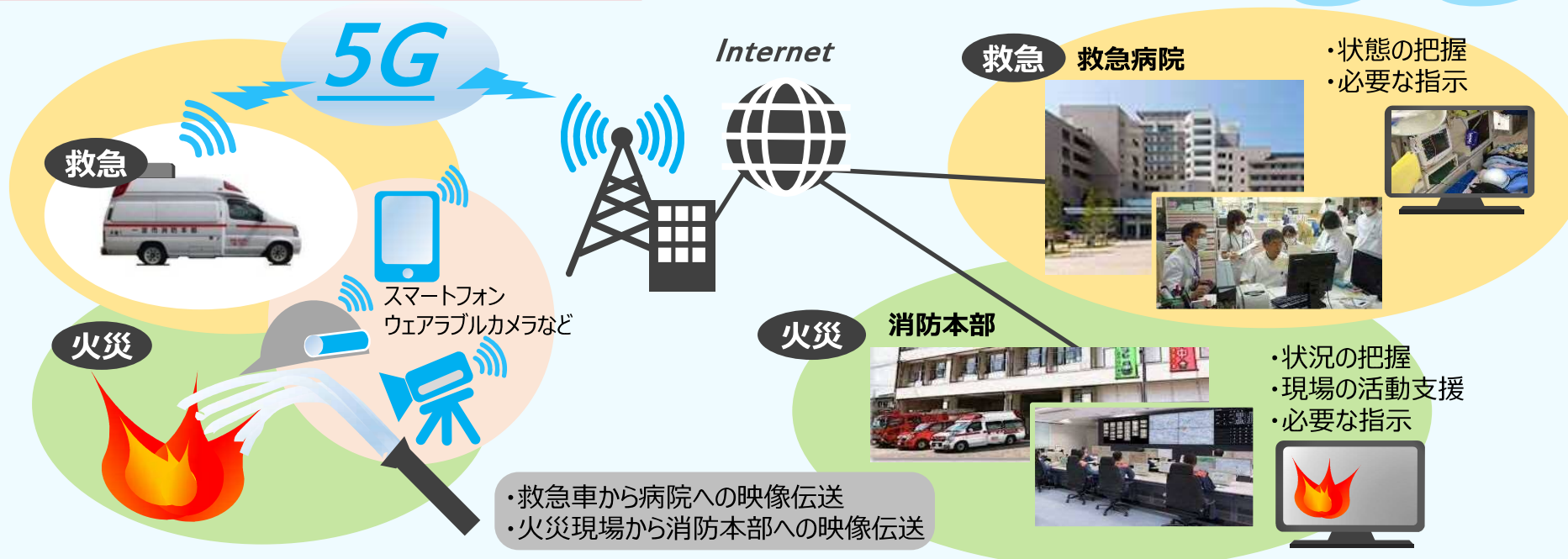
主な経費
5G利活用調査研究委託料 12,304 千円
特別旅費 105 千円

主な財源
一般財源 12,409 千円

－ 5Gの利活用の推進と早期普及を目指します －

市民の安全・安心 をテーマに調査・研究 官民協働の実証実験

5G



新 近未来技術活用事業

担当課 総務部情報推進課・財務部市民税課
0586-28-8670・28-8964

令和2年度 事業費 876万円

定型的なパソコン上の単純事務作業を自動化するロボティック・プロセス・オートメーション（RPA）、AIを活用した光学文字認識技術であるAI-OCR、インターネットを通じてAIが市民の問い合わせに答える総合案内サービスといった近未来のICT技術を積極的に取り入れ、業務の効率化と市民サービスの向上を図る。

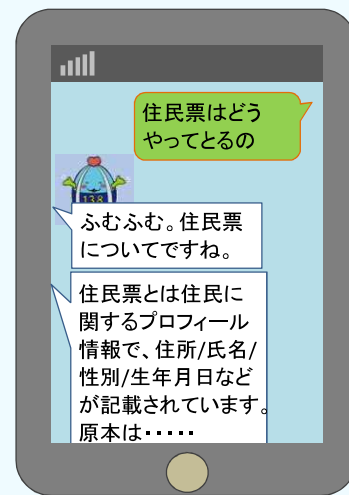
システムを利用する一宮市職員 1 人あたり		3,549 円
主な経費	AI総合案内サービス利用料	2,723 千円
	AI-OCR利用料	2,024 千円
	RPA利用料	3,834 千円
主な財源	一般財源	8,756 千円

－ AIなどを活用しスマート自治体への取組みを加速させます －

新規 県内市町で共同利用

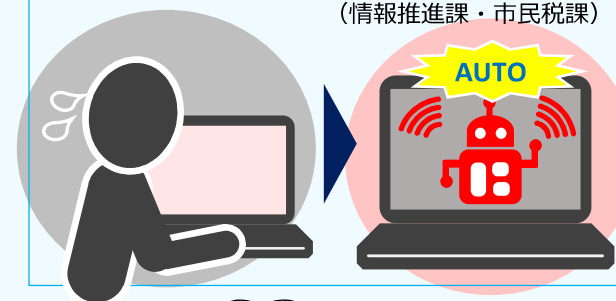
AI 総合案内 サービス 導入
スマートフォンで市民の問い合わせにAIが回答 ▶

AI-OCR 導入
手書き申請書をOCRソフトでデータ化 ▼



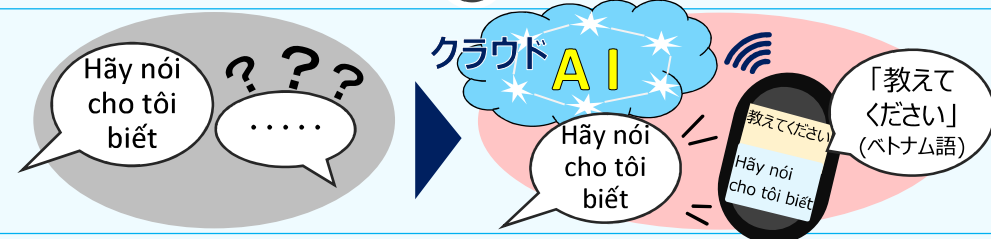
継続 RPA 推進

職員自作のRPAとAI-OCRの活用でさらなる拡大 ▼
(情報推進課・市民税課)



新規 AI 多言語 翻訳機 導入

窓口や小中学校・保育園の保護者面談などで活用 ▶



乳幼児健康診査等事業

担当課 市民健康部健康づくり課
0586-72-1121

令和2年度
事業費

4,447万円

保健センターにおいて、集団で乳幼児（4か月児・1歳6か月児・2歳児・3歳児）を対象に健康診査と9か月児を対象に健康相談を実施する。事前に案内通知を送付し、計測・診察・歯科診察・フッ素塗布・育児相談等を行う。

乳幼児健康診査等の対象者1人あたり

3,072 円

主な経費	屈折検査機器購入費	4,053 千円	主な財源	いちのみや広域基金	4,053 千円
	会計年度任用職員関係費	15,133 千円		一般財源	40,415 千円
	委託料	20,624 千円			

－ 3歳児の視力検査を充実させます－

3歳児健診が**カギ**！！

子どもの目の機能は6歳頃にほぼ完成しますが、強い屈折異常（遠視、近視、乱視）や斜視があると目の機能の発達が遅れ、良い視力が得られません（弱視）。新しく検査機器を導入することで、視力検査の精度を高め、異常の見落としを減らします。

目的

視力検査の精度を上げることで、眼科専門医へ確実につなげ、**子どもの目を守る。**

（見る力が発達する乳幼児期に治療することが重要）

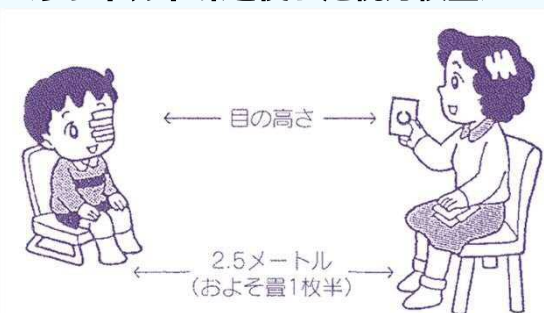
手法・効果

3歳児健康診査時に、わずか数秒で近視・遠視・乱視・不同視・斜視・瞳孔不同の異常を検出できる「**屈折検査機器**」を導入して、目の検査を行う。



早期発見による**効果的な治療につながる。**

<ランドルト環を使った視力検査>



新規

3つの保健センターに
「屈折検査機器」を配備



<検査イメージ>

拡 いきいきセンター事業

担当課 福祉部高年福祉課
0586-28-9021

令和2年度
事業費 2億5,235万円

高齢者の健康増進、教養の向上、レクリエーションのための「いきいきセンター」等を管理・運営し、福祉の増進を図る。

【いきいきセンター：4施設、いこいの広場：12施設、つどいの里：5施設、合計：21施設】

○浅野いこいの広場認知症予防事業

木曽川いこいの広場で実施した認知トレーニング機器「コグニバイク」を活用した効果検証の結果、一定の効果が認められたため、浅野いこいの広場に2台設置し、介護予防の充実に取り組む。

事業対象者（60歳以上）1人あたり		2,054 円
主な経費	コグニバイク購入費	2,518 千円
	いきいきセンター等指定管理料	217,156 千円
	施設修繕料	6,000 千円
主な財源	一般財源	251,998 千円
	使用料	343 千円

－ コグニバイクで楽しく認知症を予防 －

◆浅野いこいの広場 （一宮市浅野字八剣67番地1）



コグニバイク



コグニバイクを活用した
「脳活サイクルくらぶ」 6月から開催

木曽川いこいの広場で65人に検証をした結果

認知機能 3.3%アップ

下肢の筋力 13.8%アップ

歩行能力 7.7%アップ

◆認知トレーニング機器「コグニバイク」とは、
ペダルを漕ぎながら、タッチパネルで簡単な問題を解いて脳を活性化させて、認知機能と体力の向上を図る。

拡 放課後児童クラブ等整備事業

担当課 こども部子育て支援課
0586-28-9022

令和2年度
事業費 5億5,600万円

- 仕事で日中、ご家庭にいない子育て世帯の方を対象に、放課後、市内の児童クラブで子どもたちをお預かりする「放課後児童クラブ」を各所で開設している。
- 令和2年度は小学校の敷地内に1か所、児童館の大規模改修に合わせて3か所の合計4か所の施設整備と、放課後児童クラブの建設に係る設計を1か所実施し、放課後児童クラブの施設整備を加速化し、約150名の定員増を図る。

放課後児童クラブ申込者（登録児童及び待機児童）1人あたり		129,483 円
主な経費	工事請負費	459,290 千円
	児童クラブ建物賃借料	79,881 千円
	設計委託料	9,240 千円
主な財源	国・県補助金	189,780 千円
	市債	170,400 千円
	一般財源	195,819 千円

－ 放課後児童クラブの整備をスピードアップ －

～ 4か所の施設整備と1か所の児童クラブ棟の設計を予算化 ～



プレイルーム

約150名の
定員増！

玄関



★ポイント

- ① 放課後児童クラブの新設
→ 萩原小学校敷地内に建設
- ② 児童館の老朽化対策工事に合わせ、児童クラブ室を増築
→ 葉栗・西成・北方児童館
- ③ 児童クラブ棟の設計
→ 末広小学校敷地内に令和3年度以降に建設予定

拡 年中・年長児保育室空調整備事業

担当課 こども部保育課
0586-28-9024

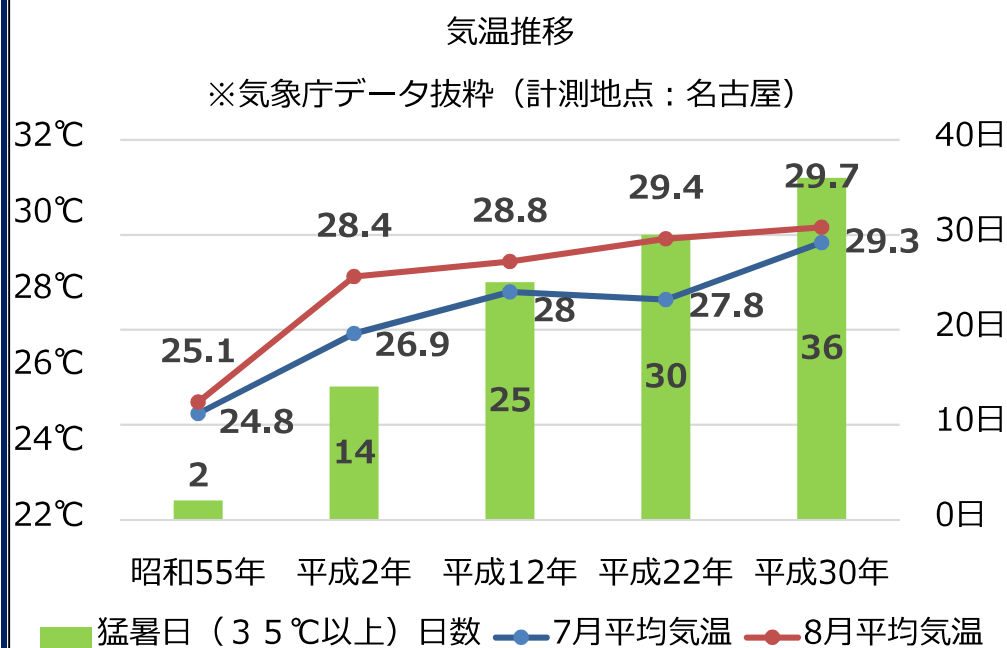
令和2年度
事業費 2,985万円

近年の夏の平均気温が上昇する中、安心、安全な保育環境の提供、園児の健康管理を行うため、平成29年度から、年中、年長児保育室への空調設置を、必要度の高い園より行っている。令和2年度以降も事業継続し、年中児保育室への空調設置を完了させる。

空調設置予定園の年中・年長児 1人あたり		35,159 円
主な経費	施設修繕料（一部） 29,850 千円	主な財源 一般財源 29,850 千円

－ 未設置の年中・年長児保育室へエアコン設置を進めます －

最高気温35度以上の猛暑日増、平均気温の上昇



保育環境の整備

公立保育園エアコン
設置状況・予定

エアコン設置の推進

		元年度	2年度	3年度
年長保育室	設置数	12	10	29
	年度末未設置数	39	29	設置完了（予定）
年中保育室	設置数	15	12	
	年度末未設置数	12	設置完了（予定）	
年少保育室 乳児室 遊戯室		設置済		

拡 中小企業振興融資等補助事業

担当課 経済部商工観光課
0586-28-9132

令和2年度
事業費 8,433万円

市内中小企業者が補助対象の融資制度を利用した場合に必要な信用保証料や当初1年間分の利子の一部を助成する。

新たに開業する事業者が、補助対象の融資制度を利用した場合に、融資金額の2%補助を予算の範囲内で支給する。

補助対象の融資を利用した市内の中小企業者1人あたり

116,155 円

主な経費	中小企業振興融資補助金	81,183 千円
	中小企業振興融資利子補給補助金	3,146 千円

主な財源	一般財源	84,329 千円
------	------	-----------

－ スタートアップ費用の負担を軽減します －

○一宮市開業資金制度

【助 成】

これまでは...

- ・信用保証料補助
愛知県信用保証協会に支払う信用保証料の90%
- ・利子補給補助
当初1年間に支払う利子の90%

補助額が
分かりにくい

わかりやすい補助額へ

これからは...

融資金額の2%



【支給時期】

これまでは...

- ・信用保証料補助
融資実行後
- ・利子補給補助
補助相当利子額の支払後

支給は
1年後かも

スピーディーな支給へ

これからは...

融資実行後すぐ支給



開業支援で地域経済活性化を！

臨 ツインアーチ 1 3 8 展望室改修事業

担当課 まちづくり部公園緑地課
0586-28-8634

令和 2 年度
事業費 2,266万円

森林環境譲与税を活用して、老朽化したツインアーチ 1 3 8 展望室の木質化改修を行う。
森林環境譲与税とは、間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進を目的として、令和元年度から創設された。

ツインアーチ 1 3 8 入館者 1 人あたり		174 円
主な 経費	ツインアーチ 1 3 8 展望室内部改修工事諸費	22,660 千円
主な 財源	森林環境譲与税	13,380 千円
	一般財源	9,280 千円

－ 「国産木材」でタワー展望室をぬくもり空間にリニューアルします －



木質化



木質化効果

- ・ 温かみ、やさしさを感じる
- ・ ほどよい硬さでケガをしにくい
- ・ 調湿性能を持つ

ねらい

- ・ いちのみや市制100周年の一環で行う
- ・ イベントを増加し展望室の利用拡大を図る
- ・ 木の香りと居心地の良さによる利用者増加





新 まちなかウォーカブル推進事業

担当課 まちづくり部都市計画課・建設部道路課
0586-28-8981・28-9144

令和2年度
事業費 3,723万円

一宮駅を中心としたエリアにおいて、コーディネーターと共に周辺関係者との意見交換や官民連携の活動を行い、「居心地が良く、歩きたくなるまちづくり」を目指すことによって、まちなかを元気にします。
シンボルロードの利用されていない「せせらぎ」を撤去し、イベントなどに活用できるよう歩道空間を広げます。
シンボルロードのラウンドアバウトの魅力を全国に発信する「ラウンドアバウトサミットin一宮」を開催します。

人口1人あたり		97 円
主な経費	まちなかウォーカブル推進事業委託料	3,973 千円
	道路改良工事請負費	30,000 千円
	サミット運営業務委託料	3,200 千円
主な財源	市債	27,000 千円
	一般財源	10,225 千円

“まちなか”を元気にします！ ～居心地が良く、歩きたくなるまちづくり～

イメージ例



利用されていない「せせらぎ」を撤去し、歩道を広げます



整備前 (シンボルロード)



整備後イメージ

ラウンドアバウトの祭典、一宮市で開催！

Walkable 歩きたくなる
Eye level まちに開かれた1階
Diversity 多様な人の多様な用途、使い方
Open 開かれた空間が心地良い

ラウンドアバウトサミットin一宮

- 令和2年11月19日（木）・20日（金）
- 全国から多くの関係者が集まり、情報発信や意見交換をします。



新 緊急輸送道路無電柱化事業

担当課 建設部道路課
0586-28-9144

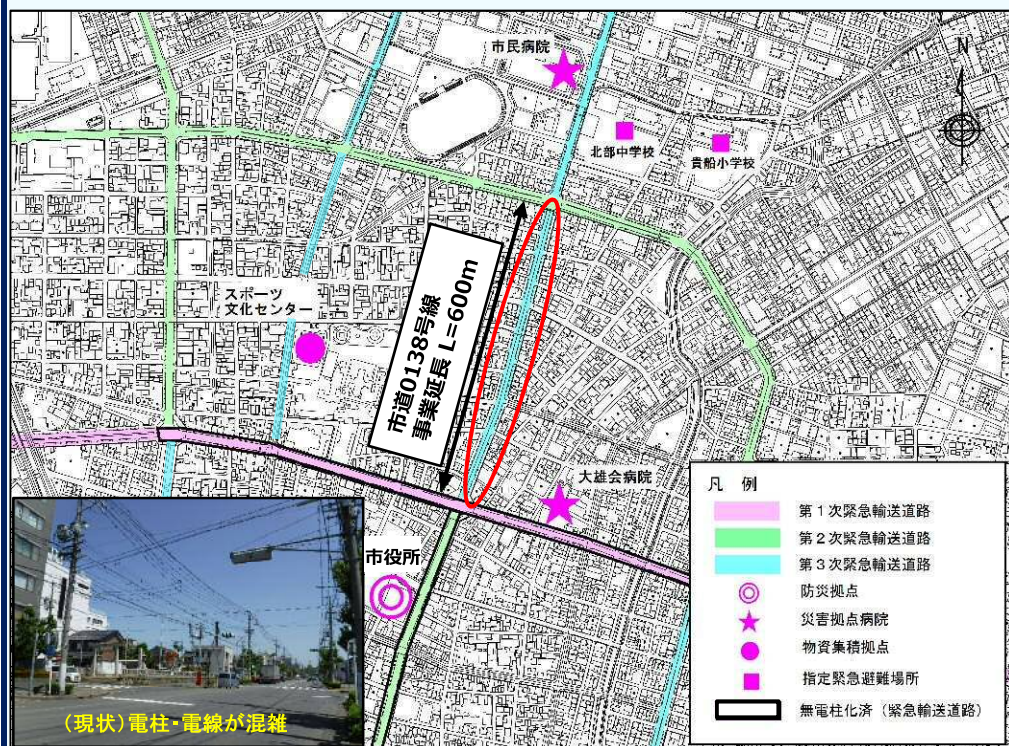
令和2年度
事業費 3,000万円

事業期間 2 ～ 7 年度
総事業費 7億円

市役所本庁舎（防災拠点）と市民病院（災害拠点病院）を結ぶ市道0138号線は、第3次緊急輸送道路に指定されており、災害直後から避難、救助活動、救援物資の輸送のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線である。
災害時の緊急輸送道路の機能を確保するため、市道0138号線の無電柱化を推進する。
令和2年度は、測量及び設計を行う。

1日の自動車交通量 1台あたり		1,779 円
主な 経費	測量・設計業務委託料	30,000 千円
主な 財源	国補助金	16,500 千円
	市債	12,100 千円
	一般財源	1,400 千円

－ 快適な歩道、広い空、そして災害に強いまちへ －



電柱倒壊による 道路閉塞の事例



出典：国土交通省WEBサイト



出典：千葉県WEBサイト

無電柱化

市民の命を守る

災害時の避難路確保

国土（地域）強靱化

緊急輸送道路の
防災性向上

安全・安心な通学路

子どもたちが安全に
通学できる歩道

良好な景観

電線のないすっきり
した道路空間

臨 生活道路交通安全対策事業

担当課 建設部維持課
0586-85-7438

令和2年度
事業費

808万円

事業期間 元 ～ 5 年度
総事業費 4,500万円

安全・安心な生活道路空間を確保するため、交通ビッグデータを活用して、交通事故等が発生している箇所もしくは、潜在的に危険な箇所を把握し、幹線道路と生活道路の使い分けを明確にさせ、ハンプや狭さく等の交通安全対策を行い、速度抑制の社会実証実験を実施する。令和2年度は千秋南小学校西部地区、開明南部地区で社会実証実験を実施する。

対象地区人口1人あたり		312 円
主な経費	調査業務委託料	4,400 千円
	緊急交通安全対策工事請負費	3,600 千円
主な財源	国補助金	3,850 千円
	いちのみや応援基金	2,170 千円
	一般財源	2,059 千円

－ 交通安全にビッグデータを活用します －

危険箇所の把握 対策の検討

交通ビッグデータを活用して交通事故の危険性を把握し、交通安全対策を検討



交通ビッグデータ

急ブレーキ箇所
平均速度30km/h以上区間
通過車両の経路
歩行者事故
自転車事故 など

交通ビッグデータを分析して
対策箇所を選定

交通安全対策工事の実施

速度抑制対策の交通安全施設を設置



例：交差点ハンプ設置（令和元年10月完成）

効果検証

交通ビッグデータの収集・解析、対策前後の道路利用状況の映像解析、アンケート等により効果の検証を行う

～交通事故をなくして安全な暮らしをめざします～

新 自転車通行空間整備事業

担当課 建設部維持課
0586-85-7438

令和2年度
事業費 1,500万円

事業期間 2 ～ 6 年度
総事業費 3億3,000万円

歩行者や自転車が安全に通行できる交通環境を整備するため、自転車専用通行帯や帯状の路面標示および、ピクトグラム等を設置する。令和2年度は市道0120号線（向山町3丁目地内ほか）の整備を実施する。

自転車ネットワーク対象地区人口1人あたり		148 円
主な経費	設計委託料	5,000 千円
	自転車通行空間整備工事請負費	10,000 千円
主な財源	国補助金	8,250 千円
	一般財源	6,750 千円

－安全で安心な自転車レーンをつくります－

一宮市自転車活用推進計画（令和元年12月～）

一宮市自転車ネットワーク計画（令和元年6月～）

安全で安心な自転車利用環境の創出に向け、自転車ネットワークの構築と、自転車利用ルールの周知・啓発を推進する

一宮市自転車ネットワーク計画における自転車通行空間整備イメージ

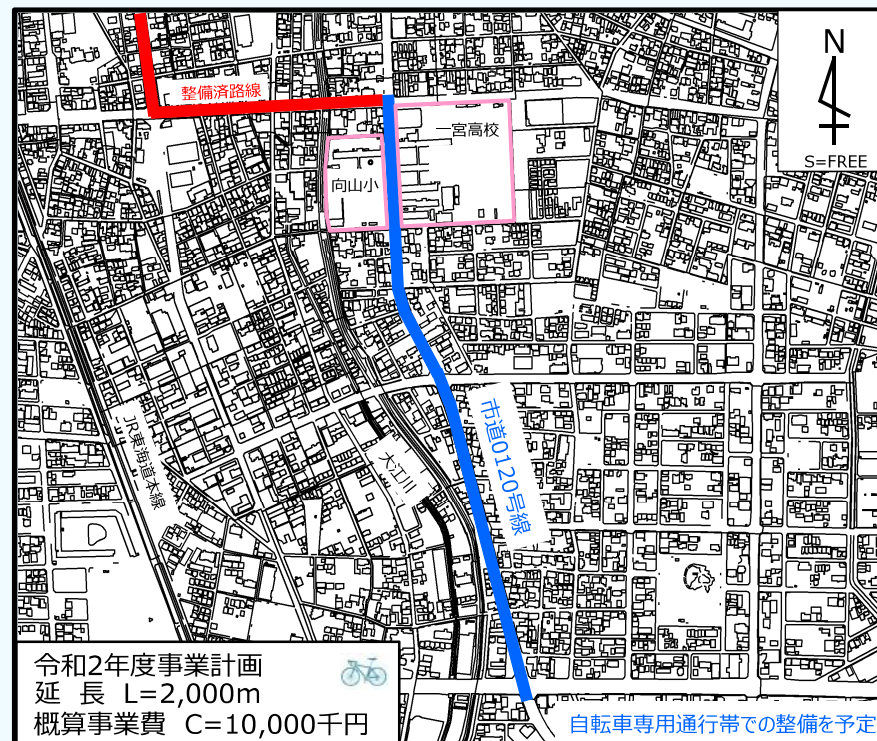


自転車専用通行帯



車道混在

～自転車の交通事故を減らす道づくりをめざします～



令和2年度事業計画
延長 L=2,000m
概算事業費 C=10,000千円

自転車専用通行帯での整備を予定

臨 洪水ハザードマップ作成事業

担当課 建設部治水課
0586-28-8642

令和2年度
事業費 1,970万円

水防法改正により、国、都道府県は想定し得る最大規模の降雨に対応した浸水想定を実施し、市町村はこれに応じた避難方法等を住民へ適切に周知するため、従来の計画規模の降雨に加え、想定最大規模の降雨に対応した洪水ハザードマップを作成する。令和2年度に作成及び印刷を行い、令和3年度に全戸配布する予定である。

配布対象戸数（市内全戸）1戸あたり		140 円
主な 経費	作成業務委託料	19,700 千円
主な 財源	国補助金	2,300 千円
	一般財源	17,400 千円

－ 「自ら（水から）守る」 想定外！ もはや想定内 －

～ 洪水ハザードマップとは ～

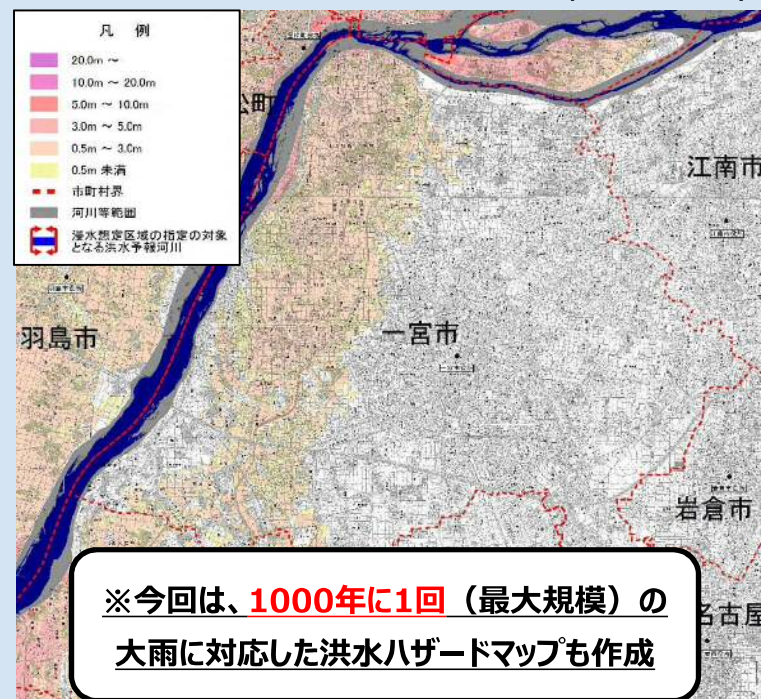
河川が大雨によって増水し、決壊したり溢れたりした場合の「浸水想定区域図」に基づいて、予測される浸水の深さや避難所について記載したものです。市民のみなさんの避難にお役立てください。

災害発生前に
しっかり確認



災害時に
すばやく避難

200年に1回の大雨の浸水イメージ（木曽川水系）



拡 プログラミング教育推進事業

担当課 教育文化部学校教育課
0586-85-7073

令和2年度
事業費

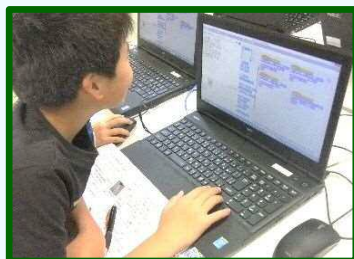
152万円

プログラミング教育を推進し、子どもたちの論理的思考力や問題解決能力を高め、未来に生きる人財育成を目指す。

市立小中学校児童生徒1人あたり		47 円
主な 経費	各種報償費	160 千円
	器具賃借料	1,359 千円
主な 財源		一般財源 1,519 千円

－ 楽しくプログラミングを学び、未来に生きる人財育成を目指します －

学校でのプログラミング教育の推進



論理的思考力や問題解決能力を高めるため、プログラミング教育に取り組めます。

わくわくプログラミング教室の開催



小学校5・6年生を対象とした希望参加制の教室で、ロボットプログラミングを体験します。

Pepperを市内の全小中学校に1台ずつ配備



【Pepper配備学校数】

小学校 15校 ⇒ 全42校

中学校 12校 ⇒ 全19校

プログラミング教育の一環として
Pepperを活用します。

新 Net119緊急通報システム構築事業

担当課 消防本部通信指令課
0586-72-1191

令和2年度
事業費

211万円

音声による119番通報が困難な、聴覚又は音声・言語に障害のある方がスマートフォン等で、消防本部と「救急」や「火事」の情報をテキストチャット、すなわち文字による会話形式で、素早く119番通報ができ、また、GPS機能により位置情報も伝えられるなど、音声によらない円滑な119番通報を可能にするシステムを構築する。

聴覚・言語機能障害のある方1人あたり		1,800 円
主な経費	Net119緊急通報システム構築委託料	1,546 千円
	通信運搬費	169 千円
	手数料	388 千円
主な財源	いちのみや広域基金	1,029 千円
	稲沢市負担金	615 千円
	一般財源	459 千円

－ 耳や言葉の不自由な方にも安心を「アプリでつながるNet119」 －

1 利用対象者

- 利用にあたっては事前登録が必要です。
- 市内に在住する聴覚・言語機能障害者が利用できます。
- ※音声電話による緊急通報が困難と認められた方も対象となります。

対象者への説明会も開催



聴覚の障害



言語機能の障害

2 通報の流れ



- 緊急時にスマートフォン等から消防本部に通報することができます。
- 市外から通報した場合でも、システム導入済みの地域であれば、管轄する消防本部へ緊急通報することができます。

3 アプリの機能



- 簡単な操作で通報できる！
- GPS機能で位置情報を通報できる！
- チャット形式で通報できる！
- 選択肢をタップするだけでも答えられる！

新 地域医療連携ネットワーク導入事業

担当課 市民病院地域医療連携室
0586-71-1911

令和2年度
事業費 3,574万円

地域医療との連携を強化するため、市民病院で治療を受けた患者の診療情報を地域の開業医が閲覧することができる「地域医療連携ネットワークシステム」を新たに構築する。

※編成公開シート 病院事業部No.01「市民病院事業費用」から関連部分を抜粋

患者（入院・外来）1人あたり		69 円
主な経費	地域医療連携ネットワークシステム構築業務委託料 35,736 千円	主な財源
		事業収益 35,736 千円

－ 地域で患者をサポートし、安全・安心な医療の提供へ －

○地域医療連携ネットワークシステム

これまでは...

市民病院を受診した患者さんが近所のかかりつけ医に受診した場合、市民病院の診療内容を医師に伝えるのは困難...



患者



かかりつけ

この間、市民病院に行って診察したけど、先生になんて説明しよう...

話してくれるのはありがたいけどよく分からない...

地域医療連携ネットワークがあると...!

これからは...

市民病院の診療内容を把握することが可能
患者さんへの負担も軽減

市民病院の診療情報



閲覧



先生が市民病院の診療内容を把握してくれているから安心!

なるほど、市民病院では
・検査は良好。
・画像も異常なし。
・こんな薬を出しているのか ...etc



配水管改良事業

担当課 上下水道部上水道整備課
0586-28-8624

令和2年度
事業費

8億9,786万円

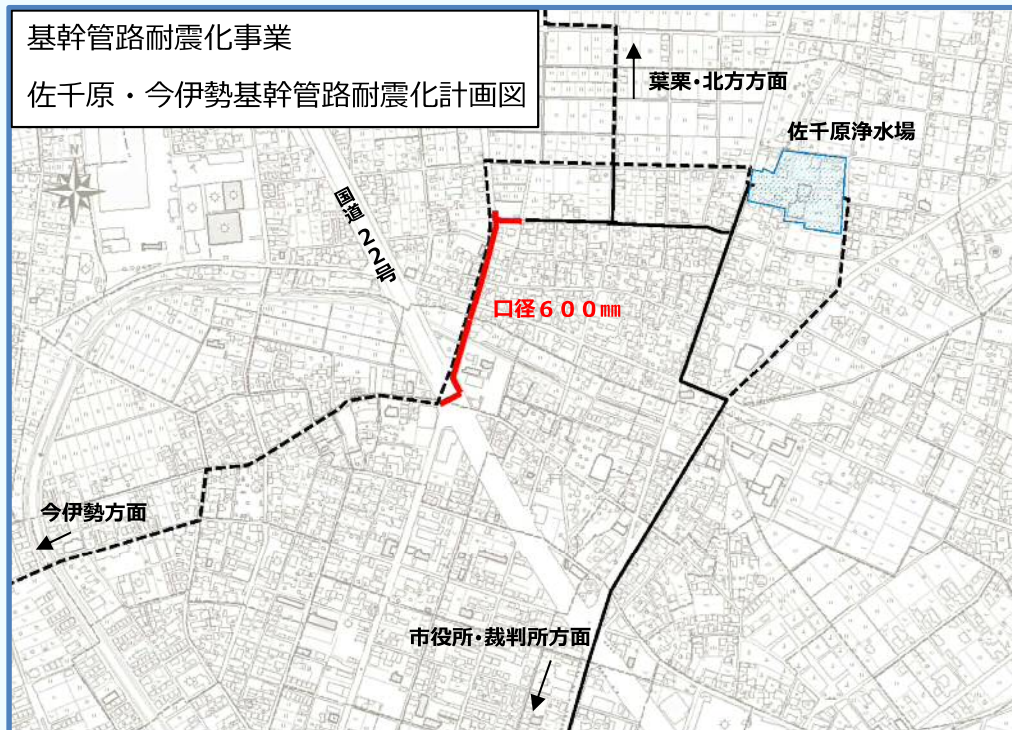
市民への安全で安定的な水の供給を継続していくために、老朽管の計画的な布設替えを行うとともに、大規模地震災害に対応するため、基幹管路の耐震化を行う。
尾西・木曽川地区は、一宮地区に比べて老朽管の割合が高いため、一般会計からの支援により老朽管の布設替えを行う。
また、避難所として使用する小中学校のうち、耐震管で配水池から配水ルートが確保されている富士小学校・宮西小学校敷地内に応急給水栓を設置する。

給水対象者 1人あたり		2,375 円
主な経費	基幹管路耐震化事業	491,860 千円
	尾西・木曽川地区老朽管更新事業	373,000 千円
	応急給水栓設置	33,000 千円
主な財源	企業債	670,000 千円
	一般会計出資金	182,111 千円
	その他	45,749 千円

－ 大規模地震から命の水を守ります －

基幹管路耐震化事業

佐千原・今伊勢基幹管路耐震化計画図



尾西・木曽川地区老朽管更新事業



漏水状況

布設替え

漏水防止

安全で安定的な給水

耐震化

応急給水栓設置

富士小学校・宮西小学校

設置

飲料水の確保

